

第9回 日本癌病態治療研究会の開催にあたって



熊本大学医学部第2外科
小川 道雄

第9回日本癌病態治療研究会を「Cancer Week in Kumamoto 2000」の一環として平成12年6月1日と2日に熊本市において開催させていただきます。今回のCancer Weekは5月31日から6月4日まで、本研究会のほか第5回日本緩和医療学会、第59回九州癌学会、第40回日本肺癌学会九州地方会より成り、それぞれ独立した集会ではありますが、「癌の発生、進展からその診断、治療、さらにターミナルケアまで」、癌をめぐる最新の進歩をすべて学ぶことができる集会を目指しております。その中でも日本癌病態治療研究会は中核を成すものと位置付けております。

今回はシンポジウムとして「癌病態の分子生物学的解析」「癌病態から見た化学療法」を取り上げ、基礎研究から臨床研究までの幅広い進歩をご発表頂きます。シンポジウムの時間には一般演題を同時に進行させず、一つの会場で十分な討論ができるように配慮しました。また、一般演題は染色体、癌関連遺伝子、p53遺伝子、発がん・増殖、シグナル伝達、分子病態、浸潤・転移、化学療法、腫瘍免疫、症例報告、予後と分け、すべて口演発表として十分な時間を取っております。

本研究会の大きな特色である共同研究の研究班についても、研究成果をご発表頂きます。また、前回選ばれた奨励研究発表は3題が予定されております。

「Cancer Week in Kumamoto 2000」では、一つの学会、研究会の参加費ですべての学会、研究会に参加できるように致しました。他の学会にもぜひご参加下さいませようお願い申し上げます。また特別講演はCancer Weekに共通するもので、立川昭二先生、徳永 進先生、柳田邦男先生のご講演を予定しております。そのほかCancer Weekサテライトシンポジウム、ランチョンセミナーも開催し、さらにCancer Week全体の懇親会も予定しております。

Cancer Weekが実りあるものとなるか否かは、ひとえに参加の先生方の積極的なご討論によると考えます。何卒よろしくお願い申し上げます。